

沖合漁業による廃棄物回収機能の可能性

～ 岩手県の沖合底曳網漁場におけるゴミ分布調査からの一考察～

ね ら い : 岩手県沖合の上部大陸棚斜面におけるゴミの分布実態を明らかにし、沖合底曳網船による漁場清掃の可能性を検証する。

成果の特徴 : 岩手県沖合の水深 200～500m の海底全体には 227 千点、153 トンのゴミが堆積していると推定された。

海底に堆積したゴミのうち、ナイロン製の袋類と遺失漁具等の漁労資材が優占していることが明らかとなった。

成果の活用面 : 調査の結果から、岩手県沖合には相当量のゴミが堆積していると推定され、漁場清掃実施による効果以外に、通常の操業により採集されたゴミの回収促進も期待される。

[具体的データ]

調査を行った 29 地点(0.579km²)のうち、21 地点(72.4%)で何らかのゴミが採集された。この内、最も多かったのがナイロン製の袋類で、19 点と全てのゴミ総数の 38.8%を占めていた。次いで遺失漁具(カゴ、漁網)や魚箱などの漁労活動に伴う資材が 9 点(18.4%)採集された。この他、空き缶が 5 点、ペットボトルが 2 点採集された。分布特性をみると、水平・垂直分布に明瞭な特性は認められず、100～200 点/km² のゴミが調査海域全域に分散していることが示唆された。平均分布密度は 122 点/km² 114kg/km² と推定され、調査対象となっている海域全体における総量は 227 千点、153 トンと推定された。

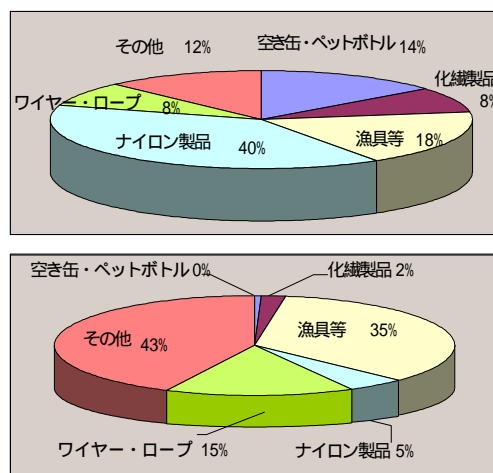


図 採集されたゴミの種類別出現頻度 (上: 点数、下: 重量)

担当者	漁業資源部 専門研究員 後藤 友明	0193-26-791 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号	
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/	